

令和4年(2022年)1月11日(火) 13798号



## 株式会社日刊金属

本社 大阪府北区天満2丁目12番地3号  
 ヴィレッジリバー南森町3階E号  
 TEL : 06-6353-7831  
 FAX : 06-6353-7832  
 MAIL : metal\_info\_osaka@nikkankinzoku.jp  
 WEB : https://home.nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円  
 6か月 38,880円 6か月 46,200円

日本鉱業協会  
 会長

村山 誠一

年頭挨拶



あけましておめでとうございます。

2022年の新春を迎え、謹んで皆様のご健勝をお慶び申し上げます。

昨年、2021年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症が引き続き世界の経済・社会活動に極めて大きな影響を及ぼした1年でした。

我が国においても、いわゆる第5波のピークには1日当たりの感染者数が2万人を超え、医療逼迫が大きく報じられるなど、感染症の脅威が私たちの身近に迫って感じられました。その後、ワクチンや日頃の感染症対策の効果もあって、感染者数は大きく減少しましたが、11月末には新型の変異株であるオミクロン株の感染者が国内でも見つかるなど、昨年は不安のたえない1年であったのではないかと思います。

コロナ禍から目を転ずれば、英国で昨年6月にはG7サミットが、10月末から11月にかけてはCOP26が、それぞれ開催され、後者では「世界の平均気温の上昇を1.5度に抑える」というパリ協定における努力目標が再確認されました。

我が国においては、昨年4月に「2030年までに温暖化ガスの排出を2013年比で46%削減する」という目標が発表され、10月には2050年のカーボンニュートラル実現に向けたエネルギー政策の道筋を示す第6次エネルギー基本計画が閣議決定されました。

政治の面では、自民党総裁選と衆議院議員総選挙を経て岸田内閣が発足しました。我々非鉄金属業界は政府の経済政策に大いに期待するとともに、その遂行に

協力してまいりたいと思います。

当業界における昨年の大きな出来事としては、非鉄金属価格が上昇し、高原状態で推移したことが挙げられます。その要因としては、カーボンニュートラルの推進、自動車の電動化や高速通信インフラの普及などの需要期待に加え、コロナによる鉱山操業への悪影響や欧州・中国の電力危機など、供給面の要素もありました。

このような非鉄金属価格の動きに加え、コロナ禍からの生産や需要の回復を受けて、当業界各社の業績は好調であり、2021年度の決算見通しは、ほとんどの会社で前年度に比べて増益との予想が発表されました。

新年を迎えるにあたりまして、引き続きコロナへの対策が必要であることは言うまでもありませんが、国産ワクチンや新たな治療薬に期待するとともに、一日も早く、コロナやその経済的・社会的影響に苦しむ方々が可能な限り少なくなることを期待いたします。

また、世界各国によるカーボンニュートラルへの取り組みは今後ますます加速すると思われます。電動化やデジタル化に必要な、銅をはじめとする非鉄金属の需要も今後さらに増える予想され、当業界は、その供給者としての責任を果たさなくてはならない、との思いを新たにしています。当協会が昨年2月に立ち上げた「カーボンニュートラル推進委員会」は業界が特に優先して取り組むべきものとしてテーマを3つ抽出し、それぞれに研究会を設置しました。

非鉄金属リサイクル促進技術の開発、製錬所等における徹底した省エネ実現、非鉄リサイクルを念頭に置いたマテリアルフロー分析、であります。昨年10月から会員企業と経済産業省鉱物資源課、JOGMECそして学識経験者の先生方と連携し研究会を進めており、本年も継続して課題解決に取り組んでまいります。

さてそのような中、当業界にとって本年の重要な課題となるのは、就任記者会見でも掲げました通り、「資源の安定確保」、「電力問題」、「リサイクルによる持続的な循環型社会の構築」、「人材確保と育成の強化」の4点です。

(2面へ続く)

日刊金属 既刊収録サイト

<https://nikkankinzoku.co.jp/>


お詫びと訂正

1月6日付本紙1面左段下から7行目を次の通りお詫びして訂正いたします。

【誤】「、対前年13.2%増の」→【正】「、対前年19.6%増の」

1点目の「資源の安定確保」につきましては、本年3月末に租税特別措置法上の期限を迎える「減耗控除制度」及び「海外投資等損失準備金制度」の拡充及び恒久化をお願いしましたところ、経済産業省をはじめとする関係者の皆様からの多大なご尽力のおかげをもちまして、非鉄金属については2税制とも縮減されることなく延長されることとなりました。これら支援制度は、長期的かつ継続的な資源開発に必要不可欠であり、我が国の経済安全保障推進の観点からも極めて重要です。業界にとって使用しやすく、かつ総合的に効果のある支援策のあり方について、引き続き発展的な改善に取り組んでまいります。また、近年、資源国において資源ナショナリズムの動きが強まっており、今後とも政府、関係機関等とも連携し、その動向を引き続き注視してまいります。

2点目の「電力問題」につきましては、昨年は福井県的美浜原発3号機が再稼働いたしました。その後発生したトラブルにより停止するなど原発の再稼働が進んでない状態の中、引き続き我が国の電力料金は高止まりを続けています。電力多消費型の産業である当業界が国際競争力を高め、ものづくりの基盤である非鉄金属素材の安定供給や循環型社会の構築といった社会的使命を果たしていくためには、国際的に遜色のない価格水準での安定的な電力供給は極めて重要です。従いまして、安全性基準に適合した原発の早期稼働、FIT賦課金の減免措置の維持・拡大、省エネ補助施策の継続などを通じ、電気料金の影響緩和及び非化石燃料由来の電力を含む安定的な電力供給の実現を引き続き強く要望してまいります。

3点目の「リサイクルによる持続的な循環型社会の構築」につきましては、当業界は長年にわたり産業廃

棄物の無害化及び非鉄金属のリサイクルに取り組み、循環型社会の構築と環境負荷の低減に大きく貢献してまいりました。また、リサイクルは製錬原料の多様化を通じて、非鉄金属の安定供給にもつながる活動です。今後も持続的な循環型社会の担い手として、当業界の果たすべき社会的責任はますます重要となりますので、日本国内の非鉄製錬所をハブとする再資源化ネットワークの維持・拡大に加え、より適正なりサイクルシステムの整備・構築に向けた取り組みを強化してまいります。また、国際的な場面においても、我が国企業が有する安全かつ効率的な有価金属の回収技術や高度な環境保全技術を活用した国際資源循環ネットワークの構築に向け、関係団体や業界各社の協力を得ながら積極的に取り組んでまいります。

4点目の「人材確保と育成の強化」につきましては、科学技術館での展示ブース常設、小中学生向け科学イベントへの出展、経団連広報センターによる大学向け企業人派遣講座への協力などを通じて、当業界がSDGsの達成やカーボンニュートラルの実現に不可欠な素材・技術を提供しており、また循環型社会の構築に大きな役割を果たしていることを、若い世代にも認識してもらえよう取り組んでおります。当業界の魅力や将来性を社会に広く理解していただくためには、長期的な視点で地道に取り組むことが重要であることから、政府や学术界、関係機関による支援を得て、引き続き努力を重ねてまいります。

以上、当業界が直面する諸課題の解決に向け、当協会及び協会員は、本年も全力を挙げて取り組む所存でございますので、引き続き関係者の皆様のご理解とご支援を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。



## 銅建値は2万円引き下げの116万円

### 1月月内建値平均は116万3,100円

JX金属は7日、電気銅建値を2万円引き下げの116万円にすると発表、同日より実施した。1月の月内建値平均は116万3,100円。

7日に入電した直近のLME銅相場前場売値が9,565.00ドル。7日の東京市場の米ドルTTSレートは116.98円。

この値で換算した採算価格は、111万8,900円。建値と採算価格から見た諸掛りは4万1,100円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)。

#### 2021年

8月…	1110(2)	1090(4)	1080(10)	1090(13)	1060(18)	1030(20)	
							平均1074.7
9月…	1100(1)	1080(3)	1070(9)	1110(16)	1080(15)	1030(21)	
							平均1078.9
10月…	1040(1)	1070(5)	1100(11)	1120(13)	1200(15)	1340(19)	
							平均1153.1
11月…	1170(1)	1150(5)	1170(9)	1150(11)	1170(15)	1150(17)	
							平均1165.2
12月…	1130(1)	1120(6)	1140(9)	1120(14)	1140(22)		
							平均1128.3
1月…	1180(4)	1160(7)					平均1163.1



## 黄銅削粉買値は12円 引き下げの844円

関西の黄銅棒大手メーカー日本伸銅は7日、黄銅削粉買値を12円引き下げの844円にすると発表した。今月2回目の改定。



銅合金地金

標準販売価格を決定

近畿青銅会

近畿青銅会は1月の銅合金地金標準販売価格を発表した。各種品目の標準販売価格は次の通り(単位：キログラム当たり円、カッコ内は前回比)。

- ◇青銅BC1種 1,180円 (-)
- ◇青銅BC2種 1,520円 (▲5)
- ◇青銅BC3種 1,615円 (-)
- ◇青銅BC6種 1,290円 (-)
- ◇青銅BC7種 1,405円 (▲5)
- ◇黄銅YBSC3種 1,040円 (◎10)
- ◇鉛青銅LBC3種 1,555円 (▲5)
- ◇りん青銅PBC2種 1,645円 (▲5)

電気亜鉛・蒸留亜鉛販売  
亜鉛ドロス・滓買入

大阪亜鉛工業株式会社

取締役社長 林 昭宏

本社・工場 〒555-0001 大阪市西淀川区佃 4-14-3

電話 06-6471-2531~5

FAX 06-6471-5781

東京営業所 〒131-0043 東京都墨田区立花 2-4-5

電話 03-3618-2351~2

ニッケル製錬会社株を買増し

住友金属など

住友金属鉱山株式会社(野崎明社長)と三井物産株式会社(堀健一社長)、双日株式会社(藤本昌義社長)はこのほど、フィリピン・ニッケル製錬会社コーラルベイニッケル社(パラワン州、神谷雅博社長)株式の住友金属が割合を90%に引き上げるなどと発表した。レアメタルのニッケルは電動車電池に欠かせず、原料の安定供給を担う。

株式売買の契約書を締結し、三井物産の子会社と双日が保有する計36%の株式を計約190億円で買い取る。譲渡は2022年1月末の見込み。現在、住友金属の保有割合は54%。

フィリピン側でのパートナーNickel Asia Corporationの保有割合10%に変更はない。

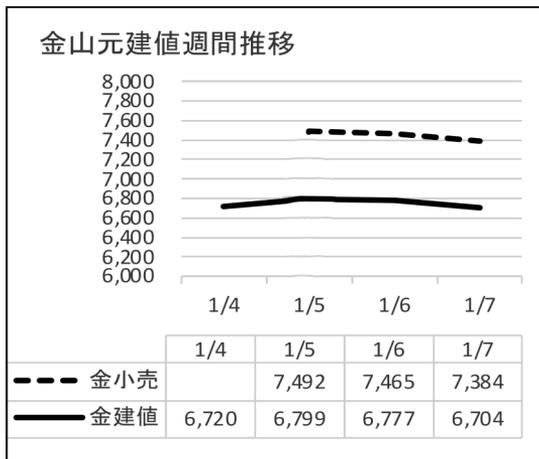
CBNCは、2002年のプロジェクト開始当時から、住友金属など3社とNACの協力で運営され、2005年の商業生産開始以降、低品位ニッケル酸化鉱からのニッケル・コバルト回収を成功させてきた。今後、CBNCが計画していたプロジェクトライフである20年の節目を迎えることから、パートナー間で今後の方針を協議し株式売買に合意した。

住友金属鉱山は、CBNCのプラントを今後も活用して鉱源確保を進め、EV向けを中心に需要拡大が見込まれるニッケル・コバルトの安定供給を図る。三井物産、双日は事業ポートフォリオ再構築の一環として今回の売却を実行する。

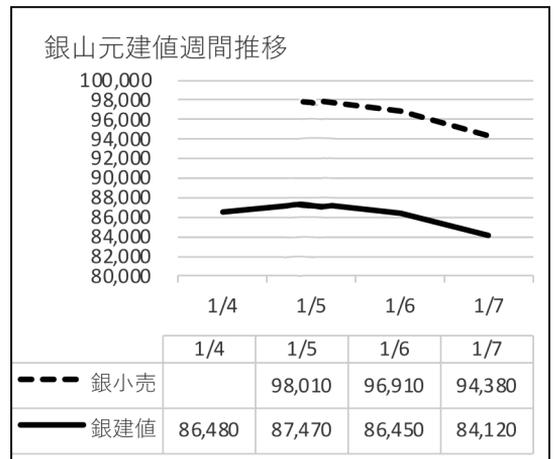


金銀山元建値週間推移

1月4日~1月7日



	12月平均	建 値	小 売
金(¥/g)		6,214.05	6,855.89
銀(¥/kg)		83,920	93,187



# 故銅市況

6日朝入電の海外相場は、LME (ロンドン金属取引所) 銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の9,778.00ドルより213.00ドル安の9,565.00ドル。直物の終値は、前営業日の9,708.25ドルより165.50ドル安の9,542.75ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の9,759.00ドルより199.00ドル安の9,560.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の9,698.00ドルより167.00ドル安の9,531.00ドル。COMEX (ニューヨーク商品取引所) の銅相場3月限は、前営業日の441.35セントより5.90セント安の435.45セント。SHFE(上海期貨交易所) の銅相場2月限は、前営業日の7万0,250元より360元安の6万9,890元。

## 故銅直納問屋筋の平均値頃感(単位は千円) (1月7日更新)

直納問屋筋によるロット物 (5トン前後) の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が894~899、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは859~864、並銅は824~834、込銅(高品位=約97%)は814、セパは669~674。コーベルは要り用筋で610、それ以外は595ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋620、それ以外590~600どころの値頃。並青銅鋳物削粉は721~726どころ。

小口市市中相場(1トン前後)では、ピカ線が874~894、上銅新しくが839~859、普通上銅が814~834、2号銅線が806~826、並銅が804~824、込銅(94-97%)が752、込銅(90-93%)が754、下銅が426~476、セパが634~669、コーベルが550~595、黄銅棒地が545~590、黄銅削粉が540~585、黄銅ラジが505~513、交叉ラジが469~526、黄銅銅鋳物が471~478、送りが267~286、上青銅鋳物が718~738、並青銅鋳物が698~713、上青銅鋳物削粉が713~733、並青銅鋳物削粉が688~708どころ。

### 銅・非鉄金属地金全般

## 株式会社 オカモト

代表取締役 岡本宜三

大阪府堺市美原区黒山 696

☎ 072-361-2264 fax 072-361-2265

### アルミ二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

#### 関東地区 (1月前半)

2S=235円~250円、63S=219円~245円、アルミホイール(1P)=131円~240円、ビス付サッシ=147円~151円、エンジンコロ=180円~163円、込合金(機械鋳物)=158円~161円、缶プレス(ソフト)=131円~136円。

#### 関西地区 (1月前半)

2S=202円~205円、63S=205円~208円、印刷版=195円~198円、アルミホイール(1P)=176円~186円、ベースメタル=184円~188円、機械鋳物=131円~134円、ダライ粉=110円~113円、ビス付サッシ=118円~123円、缶プレス=118円~120円。

7日の東京為替市場TTSレートは、前日の117.05円より0.07円の円高ドル安、1ドル=116.98円。7日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は9,565.00ドル。この値と7日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の118万2,000円より2万6,000円安の115万6,000円。この日、電気銅建値は116万円に引き下げられた。

#### 為替動向

6日、ロンドン外国為替市場の英ポンドは対ドルで6営業日ぶりに反落。16時、前日と比べ0.0040ドルのポンド安ドル高、1ポンド=1.3520ドル~1.3530ドルだった。ポンド高が続いたため売りが出やすかったが欧米の長期金利の上昇が下値を支え値動きは小幅だった。ユーロも対ドルで反落。同じく0.0040ドルのユーロ安ドル高、1ユーロ=1.1290ドル~1.1300ドルだった。

6日、ニューヨーク外国為替市場の円相場は上昇した。前日と比べ0.25円の円高ドル安、1ドル=115.80円~115.90円だった。欧米の株式相場下落で投資家がリスクを取りにくくなるとして低リスク通貨とされる円は買いが優勢となった。ただ、取引終了間際、7日発表の米雇用統計で雇用者数の伸びるとの予測から、円は上げ幅を縮めた。

7日早朝の東京外国為替市場で円相場は小幅ながら下落。8時30分、前日17時と比べ0.01円の円安ドル高、1ドル=115.88円~115.89円だった。円は対ユーロでも下落。同じく0.10円の円安ユーロ高、1ユーロ=130.91円~130.94円だった。

# 故銅・銅滓 アルミ原料

### 高価即金買入

——ご照会をう。——

## 森下商店

大阪市西成区南津守 7-12-46

TEL (06)6659-5577~8

FAX (06)6659-5579



LME銅相場は反落 3か月物の終値は9,531.00ドル

COMEX銅相場は続落 SHFE銅相場は反落

LME非鉄相場は総じて軟調 アルミは3営業日の続伸、3か月物はおよそ3%高



7日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、1月6日入電の9,778.00ドルより213.00ドル安の9,565.00ドル。反落して2.18%安。この週1.31%の下落。1月に入って1.31%の下落。3か月物の前場売値は、1月6日入電の9,759.00ドルより199.00ドル安の9,560.00ドル。反落して2.04%安。この週1.26%の下落。1月に入って1.26%の下落。

LME公認倉庫の銅在庫は、現地1月5日の8万6,950トンより1,000トン減の8万5,950トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、1月限が、1月6日入電の440.45セントより5.65セント安の434.80セント。2営業日の続落で2.64%安。この週2.40%の下落。1月に入って2.40%の下落。2月限は、1月6日入電の440.80セントより5.80セント安の435.00セント。2営業日の続落で2.71%安。この週2.47%の下落。1月に入って2.47%の下落。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、1月限が、1月6日入電の7万0,130元より440元安の6万9,690元。反落して0.63%安。この週0.36%の下落。1月に入って0.36%の下落。中心限月に当たる2月限は、1月6日入電の7万0,250元より360元安の6万9,890元。反落して0.51%安。この週0.33%の下落。1月に入って0.33%の下落。

**錫はまちまち**

LME錫相場の前場売値は、直物が、1月6日入電の3万9,700.00ドルより50.00ドル安の3万9,650.00ドル。反落して0.13%安。この週0.04%の上伸。1月に入って0.04%の上伸。3か月物の前場売値は、1月6日入電の3万9,175.00ドルより75.00ドル高の3万9,250.00ドル。2営業日の続伸で1.42%高。この週0.38%の上伸。1月に入って0.38%の上伸。

LME公認倉庫の錫在庫は現地1月5日の2,020トンより50トン増の2,070トン。

**鉛は反落**

LME鉛相場の前場売値は、直物が、1月6日入電の2,343.00ドルより52.00ドル安の2,291.00ドル。反落して2.22%安。この週1.61%の下落。1月に入って1.61%の下落。3か月物の前場売値は、1月6日入電の2,309.00ドルより28.00ドル安の2,281.00ドル。5営業日ぶりの反落で1.21%安。この週0.35%の下落。1月に入って0.35%の下落。

LME公認倉庫の鉛在庫は現地1月5日の5万4,375トンより25トン減の5万4,350トン。

**亜鉛も反落**

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、1月6日入電の3,660.00ドルより70.00ドル安の3,590.00ドル。反落して1.91%安。この週1.10%の下落。1月に入って1.10%の下落。3か月物の前場売値は、1月6日入電の3,604.00ドルより50.00ドル安の3,554.00ドル。5営業日ぶりの反落で1.39%安。この週0.42%の上伸。1月に入って0.42%の上伸。

LME公認倉庫の亜鉛在庫は現地1月5日の19万7,925トンより1,775トン減の19万6,150トン。

**アルミは続伸 アルミ合金も続伸 北米特殊も続伸**

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、1月6日入電の2,866.00ドルより46.50ドル高の2,912.50ドル。3営業日の続伸で2.26%高。この週3.80%の上伸。1月に入って3.80%の上伸。3か月物の前場売値は、1月6日入電の2,885.00ドルより38.50ドル高の2,923.50ドル。3営業日の続伸で3.47%高。この週4.04%の上伸。1月に入って4.04%の上伸。

LME公認倉庫のアルミ在庫は現地1月5日の92万6,800トンより万5,400トン減の92万1,400トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、1月6日入電の2,249.00ドルより50.00ドル高の2,299.00ドル。3営業日の続伸で0.52%高。この週6.93%の上伸。1月に入って6.93%の上伸。3か月物の前場売値は、1月6日入電の2,250.00ドルより50.00ドル高の2,300.00ドル。3営業日の続伸で0.61%高。この週6.88%の上伸。1月に入って6.88%の上伸。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、1月6日入電の2,701.00ドルより49.00ドル高の2,750.00ドル。3営業日の続伸で1.85%高。この週7.84%の上伸。1月に入って7.84%の上伸。3か月物の前場売値は、1月6日入電の2,690.00ドルより49.00ドル高の2,739.00ドル。3営業日の続伸で1.82%高。この週7.83%の上伸。1月に入って7.83%の上伸。

**ニッケルは反落**

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、1月6日入電の2万0,900.00ドルより420.00ドル安の2万0,480.00ドル。反落して2.01%安。この週2.13%の下落。1月に入って2.13%の下落。3か月物の前場売値は、1月6日入電の2万0,740.00ドルより380.00ドル安の2万0,360.00ドル。反落して1.83%安。この週1.88%の下落。1月に入って1.88%の下落。

LME公認倉庫のニッケル在庫は現地1月5日の10万1,136トンより642トン減の10万0,494トン。

LME公示価格(US\$)／1月6日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	9,565.00	39,650.00	2,291.00	3,590.00	2,912.50	2,299.00	2,750.00	20,480.00
	前営業日比	▲ 213.00	▲ 50.00	▲ 52.00	▲ 70.00	46.50	50.00	49.00	▲ 420.00
先物	公示価格	9,560.00	39,250.00	2,281.00	3,554.00	2,923.50	2,300.00	2,739.00	20,360.00
	前営業日比	▲ 199.00	75.00	▲ 28.00	▲ 50.00	38.50	50.00	49.00	▲ 380.00

海外非鉄金属相場

(1月7日 入電・現地 1月6日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 銅AG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 錫HG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 鉛, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 亜鉛SHG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: アルミHG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 北米特殊アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: ニッケル, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 出来高. Rows: NYコメックス相場, 出来高, 金, プラチナ, パラジウム.

採算価格 フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

Table with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

Table with columns: フリー・マーケット, 米国生産者価格(地金), 銀(セント/オンス) EH社, 銀(セント/オンス) HH社.

Table with columns: NY相場, 取引業者銅(セント/ポンド), 2号銅線くず(セント/ポンド).

Table with columns: ロンドン相場(ドル), 金(オンス), アンチモン99.65%(トン), ビスマス99.9%(ポンド), カドミウム99.99%(ポンド), インジウム99.99%(キロ), セレンウム99.5%(ポンド), スポンジチタン99.5%(キロ), フェロモリブデン欧州産65%(キロ), コバルトカソード99.8%(ポンド), マグネシウム中国産99.9%(トン), タングステンAPT(MTU単位), タンタル鉱石30-35%(ポンド).

Table with columns: KLT M錫(MYR/KG, 出来高トン), (6日), (7日), 相場, 出来高, ドル建て価格, ODレート, M\$/US\$レート, 採算円/キロ, US\$採算円/キロ.

Table with columns: LME在庫(トン), 在庫, 増減, 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル.

Table with columns: 上海在庫(トン), 在庫, 増減, (12/31現在), 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル.

Table with columns: LMEプレマーケット(ドル), 先物気配, (1/7), (3:00AM現地), 銅, アルミ, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

Table with columns: 上海相場, トン当たり元, 1ロット=5トン・増値税込, 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル, 1月限, 2月限, 前日比, 出来高.

Table with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海, 元・円= 18.45, 銅, 錫, アルミ, 亜鉛, 鉛.

非鉄金属製品相場

(1月7日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)	
銅小板2.0ミリ	◆ 1430	◆ 1345	亜鉛板0.3×3×7	620	620	<b>V V F</b>	
建築用0.3ミリ	◆ 1480	◆ 1395	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6	52~54
銅大板2×1×2	◆ 1560	◆ 1545	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0	93~96
銅管(ベース)	◆ 1530	◆ 1525	鉛板1.5ミリ	560	560	3C×1.6	96~99
水道用管(m当たり)13ミリ	◆ 1440	◆ 1435	鉛線3ミリ	460	460	3C×2.0	143~146
銅棒25ミリ	◆ 1360	◆ 1335	<b>軽圧品</b>	大阪	東京	<b>I V</b>	
銅条1.5×100	◆ 1400	◆ 1365	アルミ箔0.007ミリ	1055	1035	1.6mm	29.8~31.7
銅線0.9ミリ	◆ 1450	◆ 1405	〃 小板1ミリ	670	665	5.5sq	81.3~86.4
銅帯6×50	◆ 1380	◆ 1345	〃 大板1ミリ	650	655	14sq	203~216
銅平角線	◆ 1650	◆ 1575	〃 5052板	705	705	<b>CV-T</b>	
黄銅小板2.0ミリ	◎ 1170	◆ 1105	〃 5083板	720	720	600V 3C×38	1543~1640
〃 0.3ミリ	◎ 1200	◆ 1135	〃 2017板	1200	1265	600V 3C×60	2372~2522
黄銅大板2×1×2	◎ 1320	◆ 1285	〃 線3ミリ	695	655	600V 3C×100	3986~4237
黄銅管	◆ 1660	◆ 1565	〃 快削棒50ミリ	870	870	6kV 3C×38	2484~2638
復水器用黄銅管	◆ 1630	◆ 1545	〃 合金棒50ミリ(17S)	855	850	6kV 3C×60	3453~3667
黄銅棒快削25ミリ	◆ 970	◆ 940	〃 合金棒50ミリ(56S)	820	810	<b>CVV</b> (関西~関東)	
六角棒	◆ 1000	◆ 970	<b>貴金属(一般小口向け)</b>			3C×2	123~126
四角棒	◆ 1030	◆ 1000	白金(グラム)		◆ 4056	4C×2	164~168
鍛造用	◆ 1010	◆ 980	パラジウム(グラム)		◎ 7898	6C×2	234~239
ネーバル	◆ 1110	◆ 1080	金(グラム)		◆ 7384	7C×2	267~274
高力	◆ 1110	◆ 1080	銀(キログラム)		◆ 94380	<b>合金鉄</b> 11月輸入単価 (CIF)	
黄銅線6ミリ	◎ 1375	◆ 1315	<b>レアメタル輸入価格</b> 11月通関 (CIF)			フェロマンガ2%以上炭素含有	195
黄銅平角線ロール仕上	◎ 1575	◆ 1525	金属ケイ素(99.99%未満)		907	〃 その他	-
黄銅条1.5×100	◎ 1170	◆ 1125	モリブデン酸化物		3174	フェロシリコン55%以上	286
リン青銅板一般用1.0ミリ	2610	2770	タンタル		41311	フェロクロム4%以上炭素含有	191.5
〃 バネ用0.3ミリ	2870	3030	マグネシウム		456	フェロモリブデン純分60%以上	3194
リン青銅棒25ミリ	2710	2890	コバルト		6437	フェロバナジウム	2816
リン青銅線3ミリ	3040	3210	インジウム		26891	フェロニッケル33%未満	504.2
洋白板一般用1.0ミリ	3400	3440				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326
〃 バネ用1.0ミリ	3520	3560					
<b>減摩合金</b> 1月5日改定			<b>銅合金地金</b> 1月6日発表				
(500kg以上、大口価格)			(標準価格)	大阪			
1種	5270		BC 1種	1180			
2種	5100		2種	1520			
3種	4925		3種	1615			
4種	4310		6種	1290			
5種	4155		7種	1405			
7種	1360		YBSC 3種	1040			
8種	1155		LBC 3種	1555			
9種	1000		PBC 2種	1645			

非鉄金属材料相場

キロ当たり円		◎上げ ◆下げ		(1月7日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		40,000 ~ 43,000(1)				
非鉄原料 (炉前材)		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場					
1トン以上外税持込						高値	安値	高値	安値			
1 号 銅 線	◆1031	◆1031	電 気 銅	◆1126	◆1121	◆1128	◆1123	山元建値	電気銅	1160(7)	金	6,704(7)
2 号 銅 線	◆979	—	電 気 亜 鉛	451	445	451	445	( ) 実施日	電気鉛	330(4)	銀	84,120(7)
上 銅 ( 新 切 )	◆1008	◆996	蒸 留 亜 鉛	439	433	439	433		電気亜鉛	469(4)	錫(99.99%)	5,950(4)
雑 ナ ゲ ッ ト	◆852	◆862	再生ダイカスト亜鉛2種	382	376	382	376					
並 銅	◆929	◆929	再 生 亜 鉛 (98%)	344	338	344	338					
下 銅	◆907	◆902	電 気 鉛	316	311	316	311					
銅 削 粉	◆909	◆905	再 生 鉛 1 号	292	283	293	288					
銅 さ い (30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	297	292	298	294					
新 切 黄 銅 セ バ	◆785	◆787	錫 1 号	4850	4800	4850	4800					
コ ー ベ ル	◆750	◆745	ア ン チ モ ン	◎1700	◎1650	◎1700	◎1650					
黄 銅 棒 地	◆732	◆733	ニ ッ ケ ル (メ ッ キ 用)	◎2500	◎2450	◎2500	◎2450					
黄 銅 削 粉	◆726	◆729	コ バ ル ト	9500	9200	9500	9200					
並 黄 銅	◆650	◆638	セ レ ニ ウ ム	3300	3100	3300	3100					
黄 銅 ラ ジ エ タ ー	◆585	◆565	ビ ス マ ス	◎1250	◎1150	◎1250	◎1150					
交 叉 ラ ジ エ タ ー	◆596	◆595	カ ド ミ ウ ム	480	430	480	430					
黄 銅 鑄 物	◆655	—	水 銀	1800	1700	1800	1700					
山 送 り (55%)	385	—	ア ル ミ 地 金 99.70 %	◆382	◆378	◆384	◆380					
上 青 銅 鑄 物	◆804	—	ア ル ミ 二 次 地 金 99 %	310	305	310	305					
並 青 銅 鑄 物	◆802	◆801	〃 90 %	281	276	281	276					
上 青 銅 鑄 物 削 粉	◆797	—	ア ル ミ 二 次 合 金 ADC12	441	436	444	439					
並 青 銅 鑄 物 削 粉	◆787	◆789	鑄 物 用 C2BS	466	461	468	463					
新 切 リ ン 青 銅 (伸 銅)	—	◆1056	青 銅 合 金 地 金 3 種	◆1575	◆1565	◆1470	◆1460					
〃 (鑄 物)	◆921	—	〃 6 種	◆1255	◆1245	◆1190	◆1180					
リ ン 青 銅 削 粉	◆834	◆828	ハ ン ダ 錫 60 %	3560	3520	3580	3550					
新 切 洋 白 (電 子 材)	◆844	◆839	〃 50 %	3065	3015	3085	3055					
新 切 亜 鉛	175	175	〃 40 %	2635	2575	2590	2560					
ダ イ カ ス ト く ず	140	140	減 摩 合 金 2 種	5090	5060	5095	5065					
亜 鉛 ド ロ ス	118	129	〃 4 種	4280	4255	4285	4255					
上 鉛	108	106	〃 7 種	1315	1265	1315	1265					
電 池 素 鉛 ケ ー ス 込	20	20	ス テ ン レ ス ・ 特 金	18-8ステンレス 新切		125	125					
活 字 鉛	93	90		〃 ダライ粉		110	110					
新 切 ア ル ミ 1 級	215	219		高 耐 食 ス テ ン レ ス SUS316		220	220					
新 切 サ ッ シ 1 級	215	215		耐 熱 ス テ ン レ ス SUS310		265	265					
新 切 合 金 1 級	205	210		13クローム 新切		30	30					
機 械 鑄 物 1 級	142	140		ハ イ ス 9 種		200	200					
ピ ス 付 サ ッ シ P	156	155										
合 金 削 粉 P	105	104										
込 ガ ラ P	100	96										
カ ン ・ バ ラ	137	133										


非鉄金属材料相場面  
PW:KINZOKU2201